

## さがせ！海のマイクロ生物チリメンモンスター ～食卓で感じる海の声～

和泉市立南池田小学校

4年 石川 聡史朗

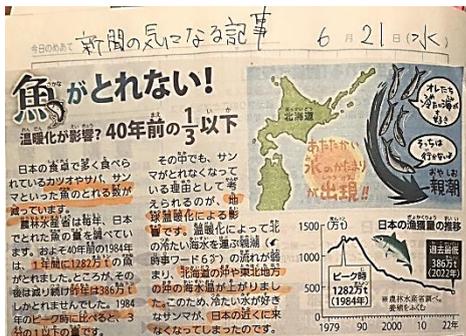
### 1, 研究の動機【調べようと思った理由】

ぼくは小さいころから、シラスやちりめんじゃこが好きで、よく食べています。

シラスやちりめんじゃこの中に、たまに魚ではない生物が入っていたり、ちがう種類の魚が入ってたりします。このような海の生物の赤ちゃんのことを「チリメンモンスター」といいます。ぼくは、チリメンモンスター(略して「チリモン」)を発見すると、宝物を見つけたみたいにうれしくなります。

だから、ぼくは1年間かけて、チリメンモンスターのことについて調べてみようと思いました。

### 2, 考察【予想・考えたこと】



ぼくは、4年生の1学期に「読売 KODOMO 新聞」で魚が不漁だという記事を読んで、宿題の自学ノートに「気になる記事」として感想を書きました。そのときに、もしかしたら、ぼくが調べているチリメンモンスターたちも同じなのかなと考えました。そして、調べようと思ったことは2つです。

① 同じ場所でとれるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか？

⇒ **ちがう**と思う

② 魚の漁獲量が減っていると新聞で読んだけれど、チリメンモンスターもへっているのか？

⇒ **へっている**と思う

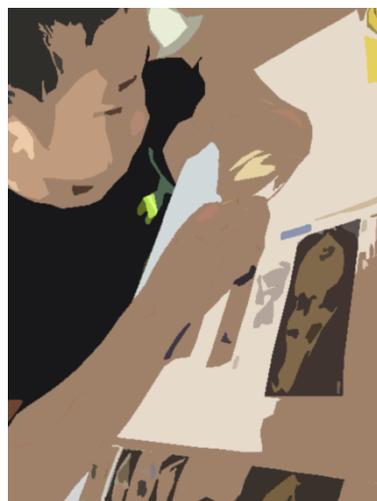
### 3. 調査方法【調べ方】

① 春・夏・秋・冬ごとに、どんなチリメンモンスターが見つかるか調べる。(見つけたチリメンモンスターはUVレジンでかためて標本にする)

② 同じ産地のちりめんじゃこ・シラスを買う。(今回は和歌山県産のもので調べました)

③ チリメンモンスターの研究をする「きしわだ自然資料館」に行って調べたりインタビューしたりする。

④シラス漁をしている漁師さんにインタビューをして、シラス漁体験をする



【研究に使った道具】  
ルーペ、ピンセット、UVレジン、  
お薬ケース



#### 4. 結果

① 同じ場所でとれるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか？

⇒チリメンモンスターの種類によって、見つかる時期は違う！！

- ・ 200gのちりめんじゃこ2袋を、季節ごとに調べましたが、特に「エビ」「カニ」「エソ」はすごく見つかる差を感じました。(見つけたチリメンモンスターはUVレジンで固めて標本を作りました。)

② 魚の漁獲量が減っていると新聞で読んだけれど、チリメンモンスターも減っているのか？

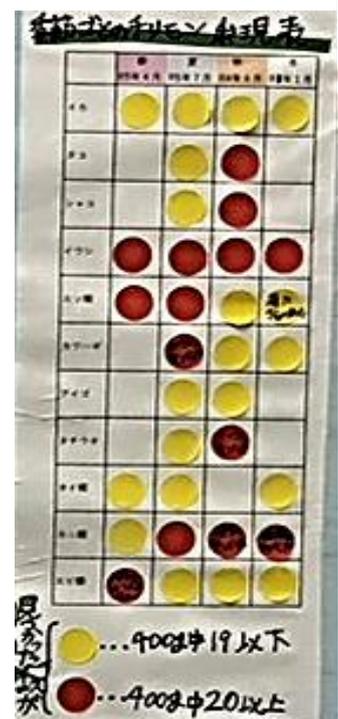
⇒少なくとも、今年は和歌山・泉州・淡路では全体的にチリメンモンスターは減っている！！

- ・ お魚に詳しい人たちにインタビューをしました

● インタビュー1 【魚屋さん】※近所のお魚屋さんに聞きました。



今日は100g280円で泉州産のシラスを売っています。去年よりも2倍くらいの値段になっています。これは、シラスの取れる量も半分ぐらいになっているということです。5月から6月には1番とれる量も多いから、生シラスを売っているけれど、今年は少しか仕入れができなかったの、すぐに売り切れました。



## ●インタビュー2 【漁師さん】※シラス漁体験の申し込みをしたときに聞きました。(淡路・和歌山)

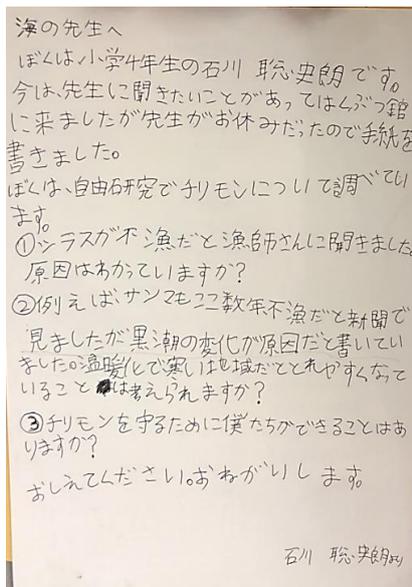


今年はシラスが本当にとれなくて、シラス漁体験をしてもらえません。漁に出れば、燃料代がかかるので、漁に出る日数を減らしています。従業員にお給料を払うのも大変なくらいです。お盆に釜揚げシラスの予約もたくさん入っているけれど、準備ができるかわからない状況です。

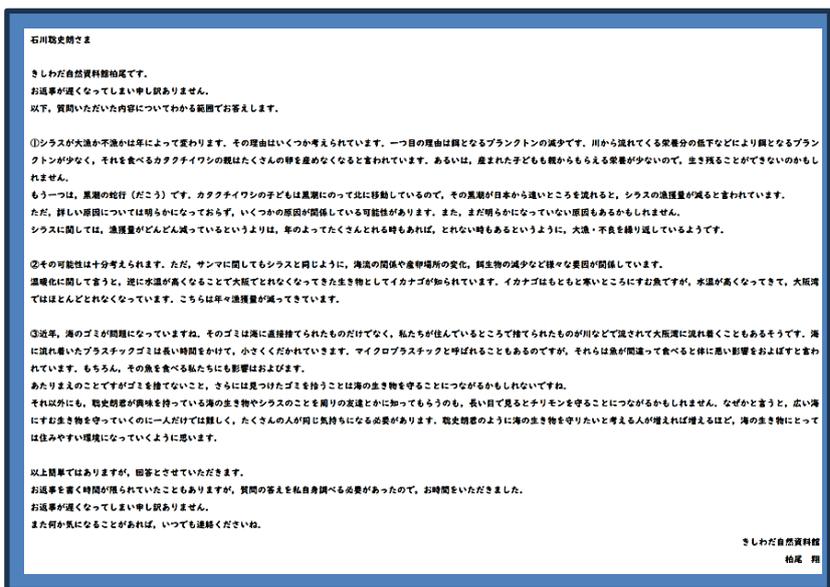
## ●インタビュー3 【チリメンモンスターの研究をしている「きしわだ自然資料館」の海の先生】

※資料館に行った日は、海の先生がお休みだったので、お手紙を書いてわたしてもらいました。後日、海の先生からお返事がきました。

### 《ぼくが書いたお手紙》



### 《海の先生からのお返事》



## 5. まとめ

1年間、チリメンモンスターのことを調べてみて、いつも食べているシラスやちりめんじゃこのパックの中は、「小さな海」みたいだと思いました。家にいるのに、いろいろな種類の魚に出会えたし、魚や海のことを調べたり、考えたりできたからです。

今回は、広い海の中の一部のことしか調べられなかったけれど、これから、もっと広い範囲のことも調べてみたいと思いました。来年こそは、実際に海に行き、シラス漁体験ができるとうれしいです。そして、これから魚を食べるたびに、魚たちが住む海の声を感じながら、ぼくにできる海を守る方法を考えてみたいと思いました。

【標本】ぼくが見つけたチリメンモンスターたち(R4.9~R5.8)



6. さいごに

3年生のときに和泉市の科学展を見に行き、「ぼくもやりたい！」とすぐに研究をはじめました。初めて研究をしてみて、すごく楽しかったし、どうしても、見てくれる人に伝えるのか一生けん命考えました。

研究をしていくと、どんどん新しく知りたいことが出てきて、時間が足りなくて困りました。新しく調べたいと思ったことは、来年に向けて研究しようと思います。

ぼくの研究にインタビューで協力してくれた魚屋さん、漁師さん、海の先生、ありがとうございました。



7. 参考にした本

「チリメンモンスターをさがせ！」 2020年7月 きしわだ自然資料館

「チリメンモンスターの中に広がる世界 海のマイクロ生物図鑑」 2020年4月 井田 齋

# 1 はじめに

ぼくは小さいころから、シラスやチリめんじゅこが好きで、よく食べています。シラスやチリめんじゅこの中には、いろいろな種類の魚が入っています。ちがう種類の魚が入っていると、ぼくは1年間かけて、チリメンモンスターを調べてみようと思いました。

## 2 考えたこと(予想)

① 同じ場所でもちるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか? → ちがうと思います。

② 魚の漁獲量が増えていると季節が変化して、チリメンモンスターもへっているのか? → へっていると思います。

◀ 今年6月15日  
「読者KODOMO新聞」の記事を、ぼくが学期に書いたお手紙と、チリメンモンスターと魚の漁獲量、ちがうのかを調べました。

## 3 調べ方

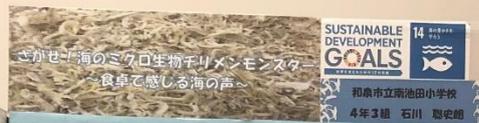
① 春・夏・秋・冬ごとに、どんなチリメンモンスターが食べられるのかを調べました。

② 同じ産地のチリめんじゅこ・シラスを食べて、魚の種類がわかるのかを調べました。

③ チリメンの研究をしている「魚屋さん」に、お話を聞きました。

④ シラス漁をしている「漁師さん」にインタビューをしました。

【研究に使った道具】  
ルーペ、ペン、タブレット



## 4 調べた結果

① 同じ場所でもちるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか?

**種類によって見つかる時期はちがう!**

200名のチリめんじゅこ・シラスを、季節ごとに調べた結果、特に「エビ」「カニ」「イソ」はよく見つかりました。季節によって、見つかる種類も変わりました。

チリメンを見つけるたびに、うれしくなります。よく見ると、とてもおもしろいです。

② 魚の漁獲量が増えていると季節が変化して、チリメンモンスターもへっているのか?

**少なくとも、和歌山・泉州・淡路では全体的にへっている!**

★インタビューをしました。

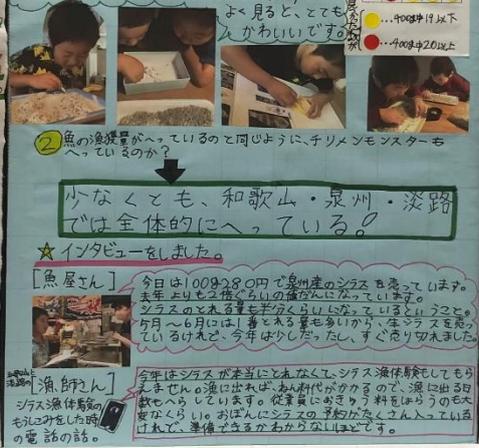
【魚屋さん】 今日100g280円で泉州産のシラスを売っています。去年より2倍くらい値段が上がっています。シラスの量は年々少なくなっています。5月〜6月には、昔と比べると多いですが、今年シラスの量は少ないです。今年はずっと、たいさくありません。

【漁師さん】 今年はシラスが本当にとれなくて、シラス漁船も出ていないです。おぼんは、おぼんが分るので、漁は3日か4日かです。おぼんは、おぼんが分るので、漁は3日か4日かです。おぼんは、おぼんが分るので、漁は3日か4日かです。

チリメンモンスター出現表

場所	春	夏	秋	冬
和歌山	●	●	●	●
泉州	●	●	●	●
淡路	●	●	●	●
その他	●	●	●	●

● 100g以下  
● 100g以上



## 5 きしわた自然資料館へ

チリメンの研究をしている「きしわた自然資料館」に行きました。お話を聞きました。お話を聞きました。お話を聞きました。

この日は、チリメンの研究をしている「海の先生」がお休みの日だったので、お話を聞けませんでした。お話を聞けませんでした。お話を聞けませんでした。

## 6 まとめ

チリメンの研究を通して、海の先生とお話をすることができました。お話を聞けませんでした。お話を聞けませんでした。お話を聞けませんでした。

参考にした本  
「チリメンモンスター」  
きしわた自然資料館

海の先生、お話を聞けませんでした。お話を聞けませんでした。お話を聞けませんでした。

